

25春闘

物価高騰から 大幅賃上げ・底上げを
生活を守れ！



▲2025春闘に向けて団結してガンバロ—

広島県労連第71回評議員会

広島県労連第71回評議員会が、1月25日（土）広島
ロードビルとオンライン併用で開催され、評議員26名傍
聴者6名を含む53名が参加しました（全出席者の女性参
加率は19名30・2％でした）。

主催者挨拶にたった広島県労連神部泰議長は、「フジテレビの問題をめぐっては約80人だった組合員が500人を超え、大企業に対して

普段から親しくなる。②組合の活動を見せる。③自分も職場で活躍する。そしてコップの水をためるように声をかける」

対等に物申し、声をあげるには労働組合しかないことが明らかとなった」

■地域労組ひろしま後河内
友喜・直美「娘の死は労災と
訴え7年。裁判は控訴棄却と

「広島・長崎の被爆から80年の今年。核兵器廃絶と核のない世界を実現し、組合員や労働者との『対話と学びあい』を広げ、『たたかう労働組合のバージョンアップ』で仲間を増やし、25国民春闘の勝利をみんなでつかもう」と強調しました。

17 人が発言。

■全教広島秦賢二『ソカク（組織拡大）』のポイント①

25春闘を闘っていく」■建
交労山田昭夫「6月に建交労
フェスタを開催する。会場一
杯の参加者で成功させたい」

■自治労連三宅一生自治体の関連職場も昨年12月には一時金を正規と同月数と4月遡及を実現。同一労働同一賃金の実現に奮闘したい■

合同労組門田勇人「宮本塗装支部で年末一時金について再雇用社員にも正規と同月数を実現。女性社員1名を含む

してガンパロー



▲2025春闘に向けて団結

にヒロシマ地域総行動を取り組む。核兵器の廃絶の波が高まる中で、の行動。すべての労働者が安心できる世の中の実現へ向け総決起しよう」

■広島県医労連沖田ゆり子

「地域医療構想の中で県内の」



▲挨拶する神部議長

上部団体の支援を頂きながら奮闘したい」■青年部坪内哲「平和の取り組みとともに25年度もピースフォトコンテストを企画を予定している」

その後、すべての議案が採決・承認され「低賃金と物価高騰から生活を守る大幅賃上げ・底上げを！大軍拡ではなく、暮らしと社会保障充実を実施しよう」の「25国民春闘アピール」が拍手で承認されました。

物価高騰から生活と地域経済と公共を守れ！

25春闘
2・1ローカルビッグアクション

春闘行動として全国で呼ばけられた「ローカルピッ報酬アップや欠員のない職場をめざして頑張りたい。ヘルパーの意欲を減退させ、廃業や離職を生む。超高齢者

「グアクシヨン」。広島では、2

■建交労・武田善成さん

月1日広島市中区に20人が
ダンプの仕事は公共が主
ケア労働者の賃金を全産業

参加し、「物価高騰から生活と地域経済を守れ」の宣伝を行いました。

体。季節によって仕事の量が不安定であり、下請け構造の中ピンハネもひどい状況で

の平均水準に上げることが求められる。

■県医労連・石川昇さん

■自治労連（放課後児童クラブ）

フ、名越千登勢さん
私たちは会計年度任用職員で5時間45分契約。放課後にさられる職場のために奮闘したい。
療介護では診療報酬・介護報酬が引き下げ続き、悪影響が出

後児童クラブの現状は、クラブが増え、職員は年間を通じて欠員。専門職でありながら責任に見合った報酬になっていない。子ども達のために

■郵政ユニオン・岡崎徹さん

大企業の内部留保は史上空前の利益を上げる中で積み増す中、職場は非正規労働者を増やし、コストコント

ている。賃金や労働条件が悪いため人手不足も深刻だ。私たち労働組合は現場の声・要求を集めたたかいていく。みなさんも一緒にたたかおう

う！
ロールで最賃に近づいた

でアピールしまし

大企業の内留保をはきだし最低賃金を大幅に引き上げることを必要だ。

年金生活者は物価高騰の中で生活は大変。自公政権はこの間、年金を抑制削減する仕組みを強化し、12年間で

年金者組合 亀井正美さん

大企業の内留保をはきだし最低賃金を大幅に引き上げることを必要だ。

年金生活者は物価高騰の中で生活は大変。自公政権はこの間、年金を抑制削減する仕組みを強化し、12年間で

年金者組合 亀井正美さん

■介護福祉労働者連
絡会・門田美穂さん

物価は一割も上がったのに
年金は3%の伸びに抑えら

介護の報酬切下げ
れた。

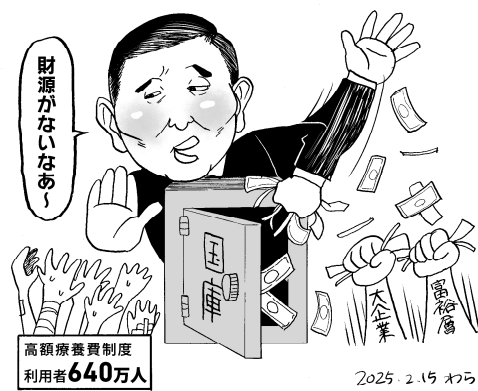
▲20人が集まり、リ

に大きな怒りの声か
上がっている。報酬
切下げは身体介護や
生活援助に対する社
会的評価の切下げを
意味する。事業者や

大企業や富裕層の不公平
税制をなくし、適正な課税を
行うことや43兆円の防衛費
を削減させ社会保障費異を
上げさせるよう改善を求め
ていきたい。

草の根わらわら

残酷・高額療養費制度の改悪



2025.2.15 から

推進力

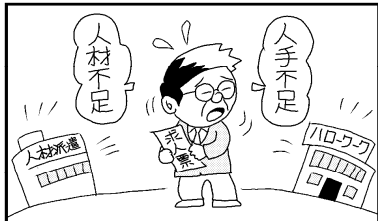
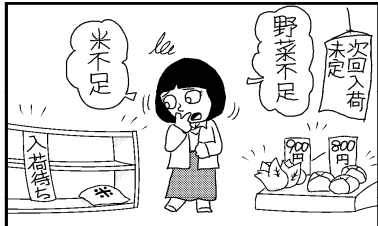
雪が多い。スキー場では2・5メートルの積雪。私はすでに15回スノーボードを楽しん

でいる。その道中、坂を登れない車が続出している。雪山へ行くにはそれなりの装備が必要だ。それもスタッドレスタイヤを履いていけばいいだけではない。その時の状況と装備での判断が必要になってくる。そんな時X（旧ツイッター）などのソーシャルメディアが役に立つ。スキー場からの発信や実際にその日の状況をつぶやく投稿もある。行く人は直前にチェックをしてほしい。そうすれば事故やスタック祭りなどはかなり減るはずだ。若い人達（死語）は日ごろXなど見ているはずなのに雪が降れば毎回あちこちで車がスタックして不思議だ▼今冬、県労連は公式LINEを開設した。使い方のレクチャーを受けたがなかなか高機能である。うまく活用していきたい。県医労連もXの投稿を増やして日々の運動の報告やイベントの告知など行っている。ソーシャルメディアは情報の発信者と受信者がつながり、誰でも情報の送り手や受け手となるのが可能であるため、情報拡散や共有が飛躍的に進む点に特徴がある。多くの人がLINEやXを使っていが、そこに着こうやって労働組合などの運動を結びつけていくのか、知ってもらうかが鍵である。まずは近くの人から知ってもらいましょう。検索から見てもらい良さを伝え、そしてその人からまた拡散へ。

(三)

なんじゃらほいほい

No.409 和井かやの



▲参加者全員で「ジェンダー平等実現、頑張ろう」

平和と核廃絶を ジェンダー視点で考える

第68回 働く女性の広島県集会

2月23日(日)「第68回はたらく女性の広島県集会」を広島ロードビル&オンライン併用で「未来を創る私たちの一歩 ジェンダー平等と核兵器廃絶に向けて平和の港へ出航しよう」を集会テーマに開催され、131名が参加しました(男性18人13%)。

佐々木マツエさんの指導によるストレッチで身体をほぐしてスタート。集会実行委員長佐藤真奈美弁護士が、励まされたこととして、NHK朝ドラ「虎に翼」を紹介。「このドラマの影響で世間の女性差別に対する受け止めに変化が起きているとし、『はて?』の言葉を武器に女性の権利、地位向上の声を強めよう」と述べました。

加盟7団体から、取り組んでいる平和活動や争議の訴えを行いました。
記念講演は、日本原水協全国担当理事の川田忠明さんが「平和と核兵器廃絶をジェンダー視点で考える」戦後・被爆80年」と題してお話しされました。

女性の登用こそ 核廃絶の道

川田さんは「核廃絶・平和運動とジェンダー視点は『切っても切れない関係』とし、『ヒロシマ・ナガサキに投下された原爆名に『ボーイ・マン』(リトルボーイ、ファットマン)が付いていることは偶然ではなく、核兵器・戦争は男権主義(マッソナ男らしさ)と結びついている。トランプ大統領の力による平和と同じで、その考え方は巨大な威力のもとで何が起ったかは、かき消されている」と指摘しました。

「平和を創る力とジェンダー視点について触れ、女性性は肌身で抑圧、差別をわかっていくからこそ、核軍縮の場に女性を多く登用させることが必要。女性の参加で



▲オンラインでもアピール

他、マイノリティの参加も促進され、平和の土台である多様な人々が共存できるようになる、ジェンダー平等は平和に不可欠だ」と呼びかけました。

最後に、「ノーベル委員会委員長の『献身的な個人が変化をもたらす』という言葉を紹介し、『二人ひとりが世界と日本を動かしてきたことは事実だ。街頭での行動はなかなかチラシをとってもらえず、署名もしてもらえないことも多いが、素通りのようでも必ず見て、聞いている市民がいる。くじけずにやり続けることが大事』と参加者を励ました。

講演後の男女いっしょの少人数のグループ討議では、口頃のおもいを交流し大いに盛り上がりました。
橋本敏子副実行委員長が、春闘行事への参加を呼びかけ、最後に全員でアピール行動を行いました。

『第五福竜丸』は核兵器のない未来に向かって航海中

3・1ビキニデー ヒロシマ集会

ビキニ水爆実験による被災からまもなく71年です。1954年3月1日未明、アメリカは中部太平洋マリアル諸島・ビキニ環礁で、広島型原爆の1千倍もの威力をもつ水爆実験を行いました。「死の灰」は世界中に降りそそぎ、マリアル諸島島民や周辺海域で操業していたのべ1000隻を超えるマグロ漁船と2万人とも見積もられている乗組員など多数の人々に甚大な被害をもたらしました。

広島県原水協は、2月22日(土)、広島市内で「被災71年3・1ビキニデー広島集会」を開き、90名が参加しました。開会挨拶をした福岡篤紀代表理事は、核兵器禁止条約の第3回締約国会議にオブザーバー参加すらしな

い石破政権を批判し、「被爆者とともに核兵器のない世界実現にむけて運動をさらに広げよう」と呼びかけました。東京夢の島にある第五福竜丸展示館で学芸員を務める市田真理さんが講演。1957年に制定された原爆医療法では水爆実験の被災者や子孫も対象になる予定だったが、対象から除外されたが、対象から除外され、第五福竜丸と同じように被災した元乗組員には、「救済する法律が未だない」と告発しました。夢の島に捨てられた第五福竜丸が保存運動によって残されたことにも触れ、「第五福竜丸は二度と海を走ることはないが、核兵器のない未来に向かって今も航海中です」と訴えました。



▲パワーポイントで説明する市田さん

2025 ひと

大平 文俊さん

建交労広島労災職業病支部書記長
広島県労連ジェンダー平等推進委員会委員長



大平さんがユニークで楽しい方だということは周知の事実ですが、今回はジェンダー平等委員長としての顔をご紹介します。
建交労では6月に『建交労フェスタ』が広島で開催される予定になっています。男性の割合が多い建交労の中で「男女の気兼ねなく楽しめるコー

スガ欲しい」と大平さんが先頭に立って県本部コースを立ち上げました。
ですから、大平さんが広島県労連ジェンダー平等委員会の委員長に就かれたと聞いた時も事務所の誰もが「大平さんなら様々な立場の方の為に尽力されるに違いない、適任だ」と納得したものです。添付の写真は志高くジェンダー平等で日本の偉人になるという決意表明です。(岩本ゆう子)

福山地区労会議 2025春闘学習会開催

地区労会議は2月7日、『日本被団協ノーベル平和賞受賞と被爆80年』をテーマに、高橋信雄県原水協代表理事を講師に招いて春闘学習会を開催。高橋さんは原爆の構造や威力とともに、被団協のノーベル平和賞受賞が人類の危機に大きな警鐘を鳴らすものであることを強調されました。参加者からは、「穏やかな口調の裏側に核兵器廃絶への熱意が伝わってきました」「被爆80年の特別な意味が分かった」などの感想が寄せられました。今冬最大の寒波に見舞われた夜でしたが、25人の参加者で成功裏に終わりました。

尾三定期大会

2月23日、第30回定期大会を、尾道しまなみ交流館で開催しました。川井雄二議長は「物価の高騰と実質賃金の下落により、労働者の生活苦が深刻です。賃上げ要求が強まり、ストライキでたたかう労働組合への期待が強まり、労働組合に入って交渉したいとの声」が労働相談に寄せられています。」とあいさつの中で述べられました。尾三地域労連は組織的には少数ですが、尾三地域の住民の命とくらしを守り、憲法擁護の民主的な社会を作るうえで決定的に必要組織です。これからも頑張ろうと決議しました。

日本製鉄呉跡地を考える



▲日本共産党国会議員団による防衛省との交渉(2/20)

防衛省が日本製鉄呉跡地を一括購入して多機能な複合防衛拠点にするのが方針を発表したのが昨年3月4日。防衛省は今年3月末にもゾーニング最終案を出そうとしています。昨年末には、広島県と呉市は日鉄跡地利活用にかかる検討結果を公表。エネルギー産業やデジタル産業、造船産業の3分野を候補として、経済波及効果がそれぞれ6兆3000億円から2兆2000億円になるという試算が出ています。跡地を「防衛拠点ではなく、平和産業へ」の世論と運動を広げていくことが求められています。

年金者 署名宣伝行動

年金者組合広島県本部は年金支給日の2月14日に県内各地で宣伝署名行動を行いました。本通りの行動には、23名が参加し、バレンタインデーにちなんで、ティッシュに年金ピラとチョコレートを入れて配布。4人の発言者が「実質年金引き下げで、国民年金の方の生活が大変な状況になっている。年金積立金、軍事費削減など、予算の使い方国民生活は改善できる。頑張らましよう」と訴えました。

